

古来より伝わる  
神聖な素材  
本麻の飾り



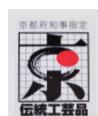
## 京都の職人が作る本麻の工芸品

全国の神社で使用されている鈴緒<sup>※</sup>や注連縄など神事用麻製品を作っている職人による匠の技。麻は古来より神事に使われる神聖な素材として扱われております。麻の葉には魔よけとして、また神社では、けがれを祓い、神域をつくりだすための神祭具として麻が用いられています。麻の古き良き伝統を現代にも気軽に飾れるよう見直し作りました。

※鈴緒とは 神社の堂前に吊り下げ設置されている、お賽銭を入れた鈴を鳴らす為の縄。

### 本麻とは

本麻は国内で許可を受けた数少ない生産者により作られ  
茎の表皮を精製し麻の原料となる麻苧が仕上がります。  
その麻苧を元に100年以上続く老舗の職人に  
よって一つ一つ手で撚り丁寧に作られています。  
現在ではその職人は数人しかおらず  
作られた物は京都の伝統工芸品として指定される  
札を付属することができます。



京都府伝統工芸品として指定された産地組合員の製品である。  
この札が本麻の商品には付属されます。

KYOTO  
TSUNAGI WORKS